

第152回 定時株主総会



Nissan Chemical
CORPORATION
日産化学株式会社

報告事項

経済環境

国内景気

個人消費の一時的な
回復基調

新型コロナウイルスの感染拡大
緊急事態宣言の再発令等

本格的な回復に至らず

当社グループの事業

化学品セグメント

基礎化学品、ファインケミカル
売上増加

機能性材料セグメント

ディスプレイ材料、半導体材料、
無機コロイド 全て順調

農業化学品セグメント

海外向け農薬等が増収

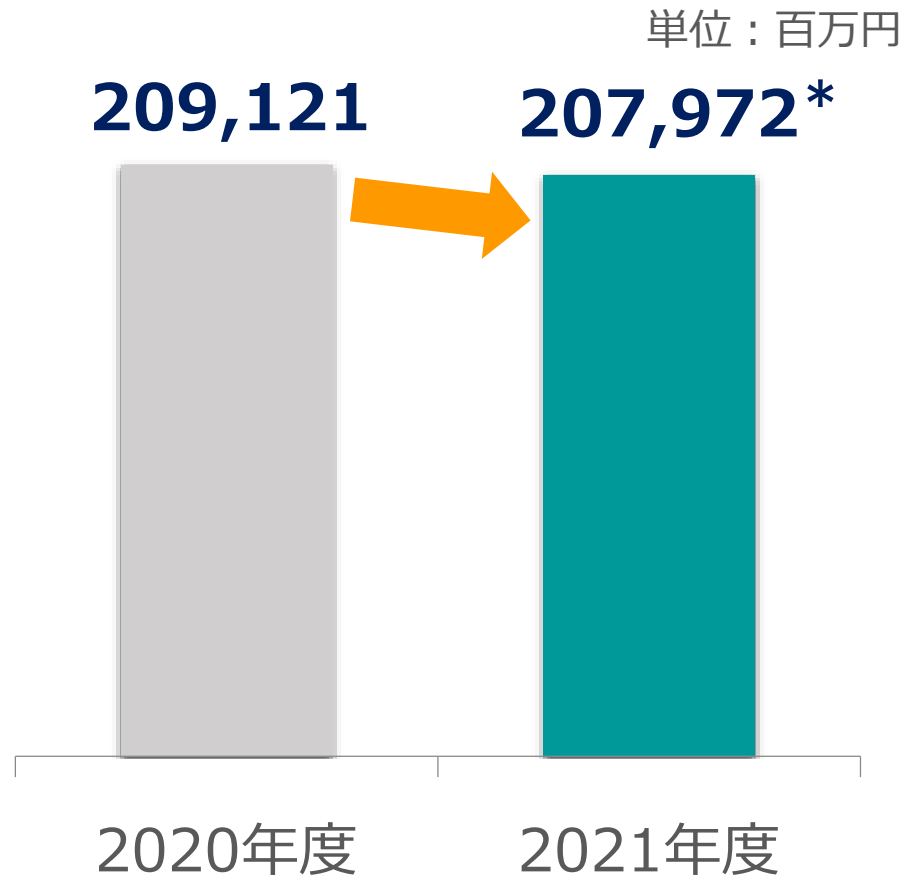
医薬品セグメント

ファインテックは増収、
創薬事業は減収

当期における業績

売上高

2,079億72百万円



前期比

11億49百万円減

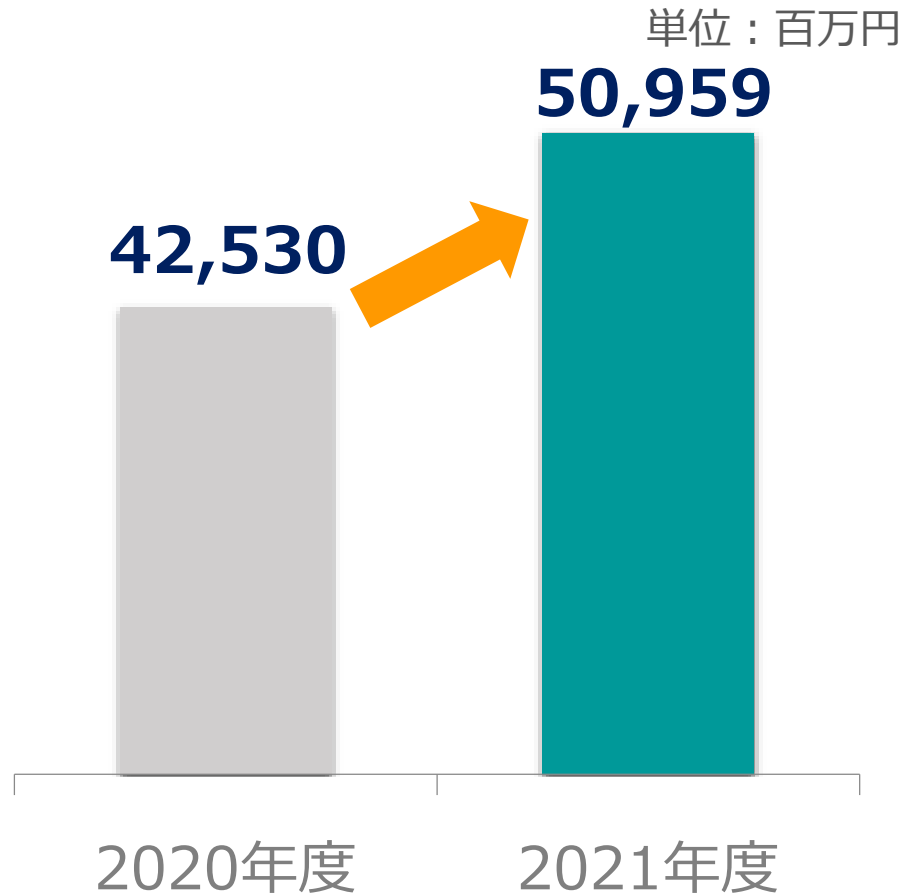
△0.5%

*会計基準変更影響△228億85百万円含む

当期における業績

営業利益

509億59百万円



過去最高

前期比

84億29百万円増

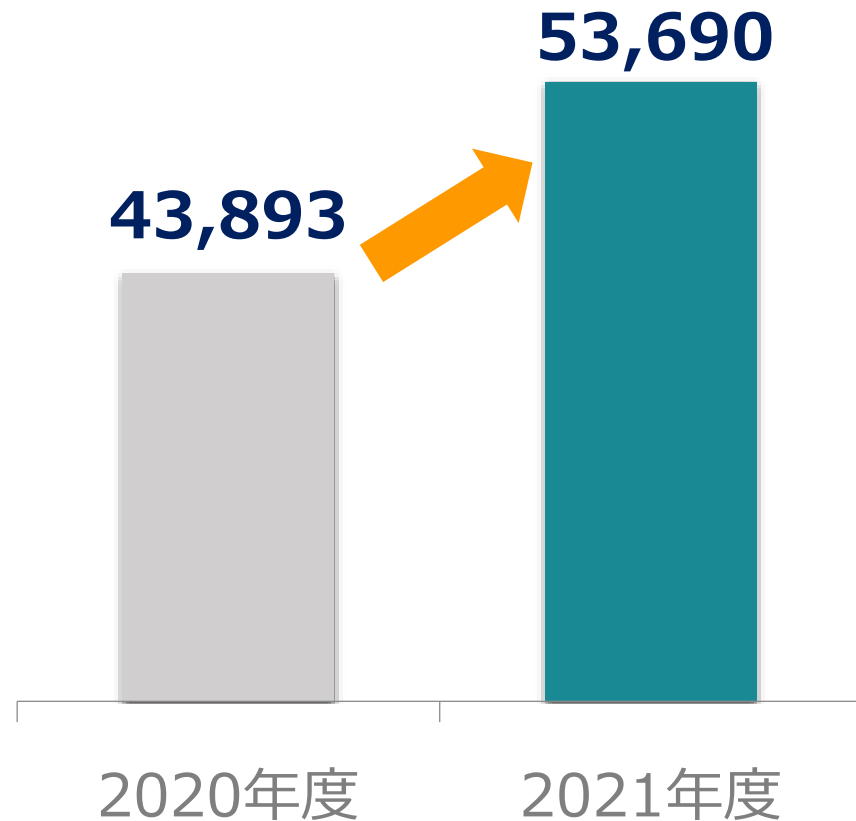
19.8% ↑

当期における業績

経常利益

536億90百万円

単位：百万円



過去最高

前期比

97億97百万円増

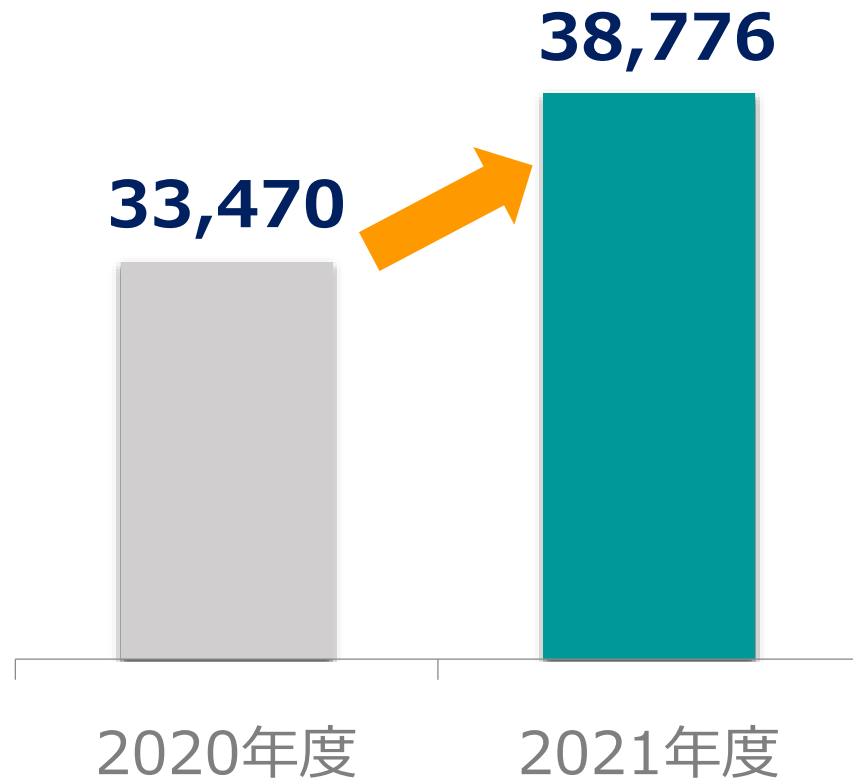
22.3% ↑

当期における業績

親会社株主に帰属する
当期純利益

387億76百万円

単位：百万円



過去最高

前期比

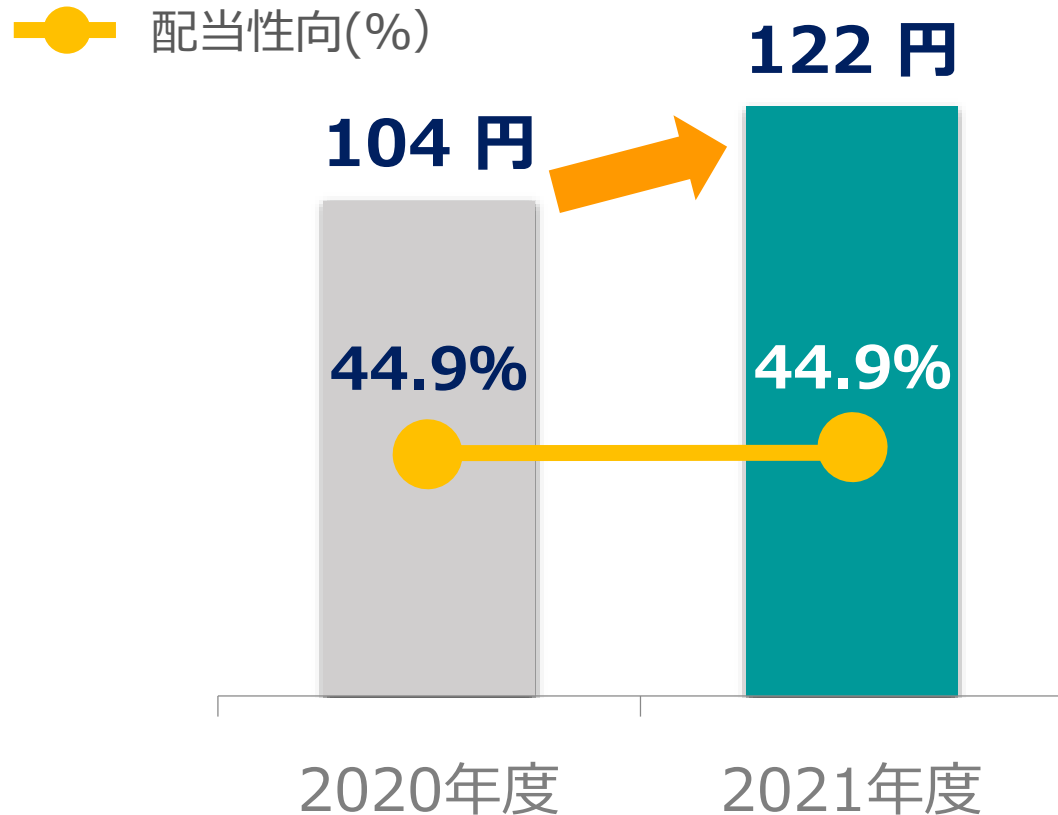
53億6百万円増

15.9% ↑

株主還元

年間配当金

1株につき 122円 (予定)



前期比
18円増配 ↑

主要な経営指標

売上高営業利益率

24.5%

4.2ポイント↑

自己資本利益率(ROE)

19.2%

1.7ポイント↑

1株当たり当期純利益(EPS)

271.88円

40.15円↑

対処すべき課題

Vista2021 Stage II（2019～2021）総括

2030年を見据えた長期経営計画
Progress2030

6力年の中期経営計画
Vista2021（2016～2021年度）

Vista2021 Stage II（2019～2021年度）の基本戦略

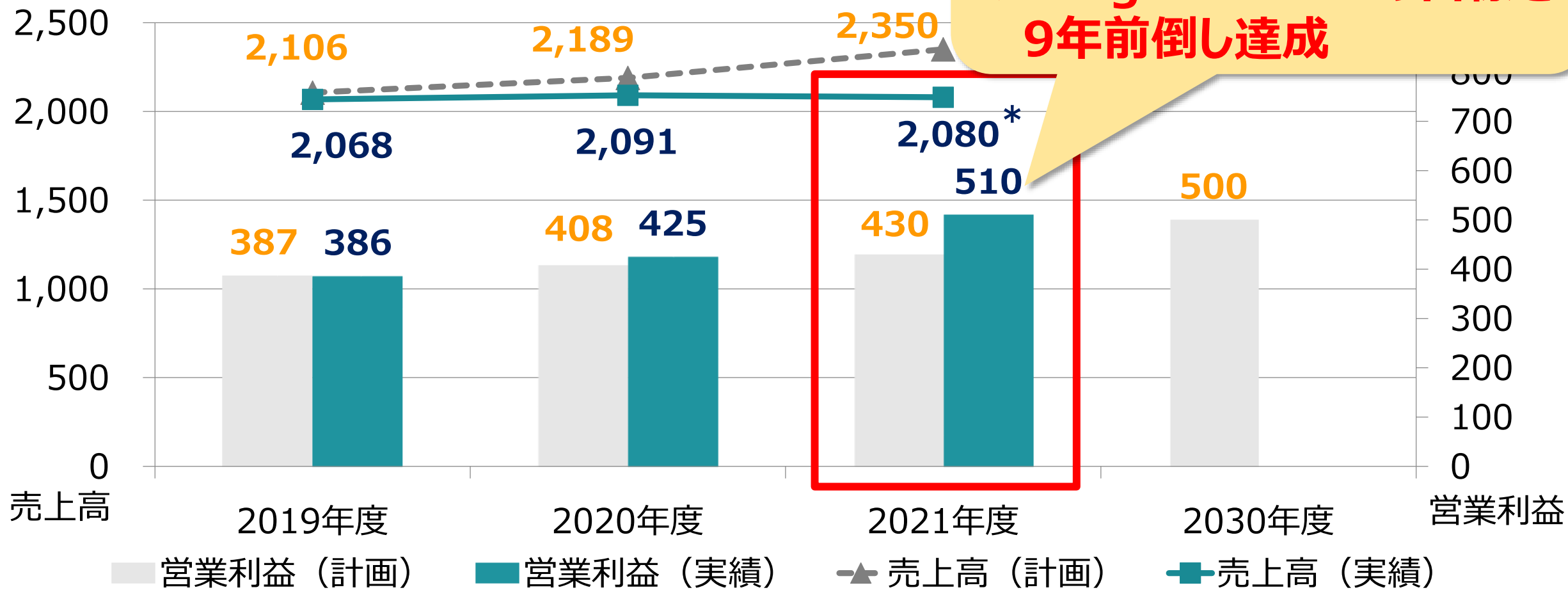
成長の源泉となる製品の利益拡大

新製品創出力の強化

社会および市場の変化への対応力向上

Vista2021 Stage II (2019~2021) 総括

売上高、営業利益 (億円)



*会計基準変更影響△229億円含む

Vista2021 Stage II (2019~2021) 総括

経営指標

	2021年度 (実績)	2021年度 (目標)	
売上高営業利益率	24.5%	18%以上	達成
ROE	19.2%	16%以上	達成
配当性向	44.9%	45%維持	達成
株主総還元性向	75.6%	75%維持	達成

今後の成長に向けて

課題認識

Progress2030のあるべき姿を実現する新規事業の創出に未だ至っていない

新型コロナウイルスの世界的感染拡大、カーボンニュートラル社会の実現への取り組み等により社会構造、事業環境は急激に変化

課題解決に向けて

事業環境の大きな変化を踏まえ、
企業理念に立ち返り、新経営計画を策定

2050年に視座を高めた
長期経営計画

「Atelier2050 (アトリエ2050)」

通過点となる2027年の姿を示す
中期経営計画

「Vista2027」



2022年4月より始動

企業理念体系

社是
価値観

企業理念

(存在意義・パーパス)

長期経営計画

Atelier2050

行動指針

<企業理念>

社会が求める価値を提供し、地球環境の保護、
人類の生存と発展に貢献する

<Atelier2050>

- ◆ 社会からの要請に応え、次の100年に向けて
成長し続ける企業を目指す
- ◆ 企業発展の原動力として、社内外の知を
融合し、挑戦し続ける企業文化を醸成する

企業の姿

人と自然の豊かさを希求し成長する
未来創造企業

組織の姿

強い情熱で変革に挑む共創者集団

2050年のあるべき姿

企業の姿

組織の姿

事業領域

成長事業

基盤事業

情報通信

ライフサイエンス

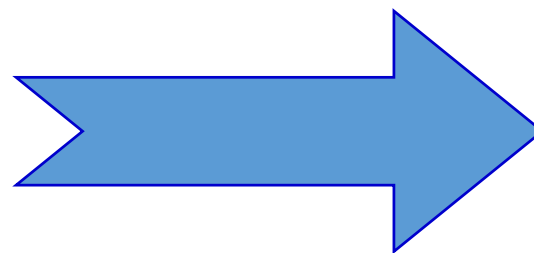
環境エネルギー

素材・サービス

コア技術

新技術

現有技術



融合・深化

新製品・新規事業を創出、確固たる成長路線を築く

2050年のあるべき姿

企業の姿

組織の姿

社会との関わり

社会課題の解決に
貢献する製品・
サービスの拡大

地球環境への負荷
軽減に根差した
経営

地域を含め社会全体から信用され、評価される企業

-環境・食料問題の解決、生活の質の向上への貢献

-2050年カーボンニュートラル達成に向けた温室効果ガスの排出量削減

社員の姿

基本姿勢

- ◆ 誠実を力に
- ◆ 志で踏み出す
- ◆ 協働を超えた共創へ

未来の創出に挑む

Vista2027

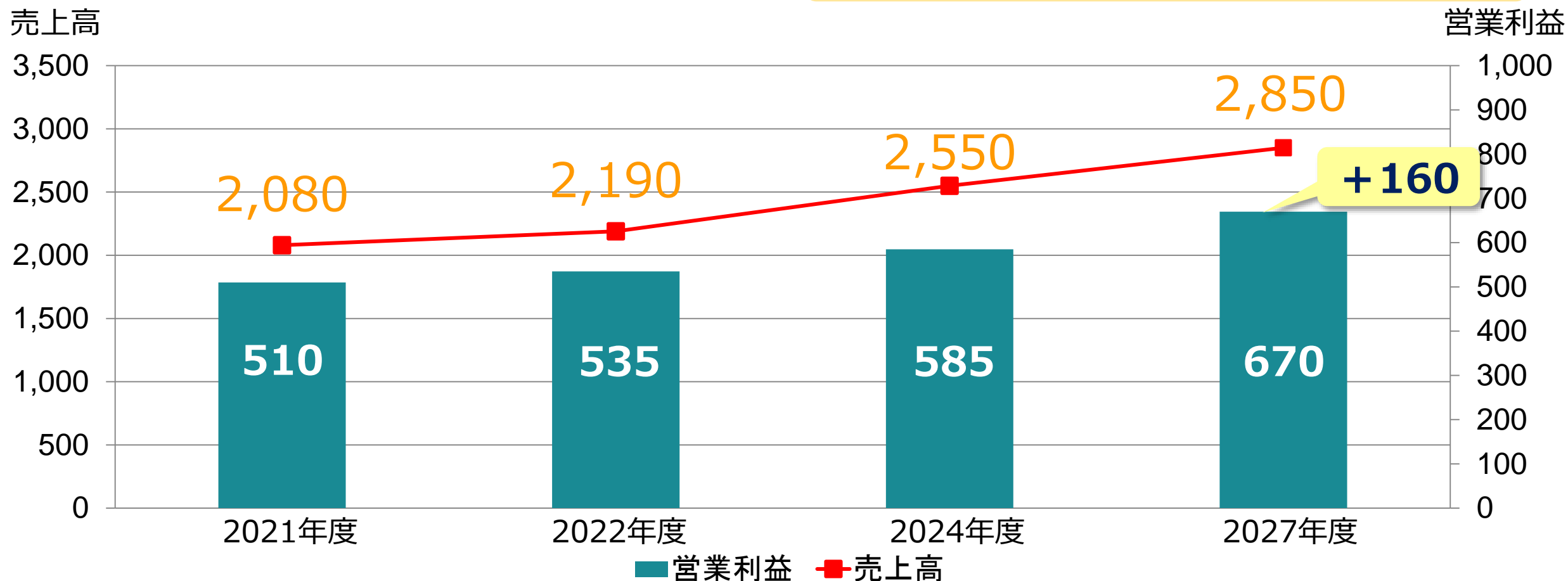
単位：億円

前半3力年 Stage I (2022~24年度)

Stage I 最終年度 (2024年度) 目標
売上高2,550億円 営業利益585億円

後半3力年 Stage II (2025~27年度)

Stage II 最終年度 (2027年度) 目標
売上高2,850億円 営業利益670億円



Vista2027 セグメント別営業利益

(億円)

	2021年度 (実績)	2022年度 (計画)	2024年度 (計画)	2027年度 (計画)	24年度-21年度	27年度-21年度
	①	②	③	④	③-①	④-①
化学品	38	22	35	39	-3	+1
機能性材料	277	305	321	380	+44	+103
農業化学品	183	195	217	210	+34	+27
ヘルスケア*1	9	21	21	43	+12	+34
その他*2	3	-8	-9	-2	-12	-5
合計	510	535	585	670	+75	+160

* 1 : 2021年度は医薬品セグメントの数値 * 2 : 企画本部、卸売・その他・調整

Vista2027 財務指標

	2021年度 (実績)	2022~2027年度 (目標)
売上高営業利益率	24.5%	20%以上
ROE	19.2%	18%以上
配当性向	44.9%	55%維持
総還元性向	75.6%	75%維持

2027年の姿

2050年のあるべき姿へ至る通過点として、2027年の姿を設定

現有事業が業績を力強く牽引し、事業領域の拡充に向け、
新たなコア技術を確実に修得している

サステナビリティに関わる取り組みが組織的に進められ、
その関連情報を社内外に発信している

デジタル基盤の構築が進められ、
顧客・市場等の最新情報に基づいて業務が進められている

Vista2027 基本戦略

Vista2021 Stage II で認識した課題と2027年の姿を踏まえ、以下を基本戦略とした

事業領域の深掘りとマーケティング力の向上

サステナブル経営の推進

価値創造・共創プロセスの強化

現有事業のシェア・利益の拡大

(成長源泉となる現有製品の伸長と新製品の確かな育成)

基本戦略 1「事業領域の深掘りとマーケティング力の向上」

現有コア技術の錬磨と開発領域の深化・拡充

①センサ向け材料 ②次世代ディスプレイ材料 ③電池向け材料・ガス分離膜材料

新たなコア技術（微生物制御、情報科学）の育成

2050年までの事業領域拡充を企図し、微生物制御技術の修得を目指す

現有コア技術、新たなコア技術に関わる社外技術の導入

マーケティング力、企画立案力の強化

基本戦略 2「サステナブル経営の推進」

持続可能な社会への貢献と 当社の持続的成長のためのマテリアリティ（重要課題）

① 人々の豊かな暮らしに役立つ新たな価値の提供

健康問題、食糧問題、スマート社会などへの貢献

② 自社事業基盤の強化

人材の確保・育成、ダイバーシティの推進など

③ レスポンシブル・ケア*活動の継続的強化

気候変動の緩和（温室効果ガス削減目標設定）など

日産化学
サステナブル
アジェンダ

*化学産業界の自主的な環境・
健康・安全を確保する活動

①～③で重要業績評価指標(KPI)を設定

基本戦略 2「サステナブル経営の推進」

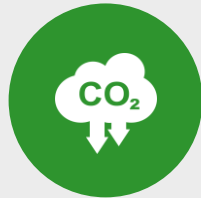
日産化学サステナブルアジェンダ*：「地球と人の未来のためにできること」を
起点に、社会課題解決に貢献する製品・サービスの提供

*アジェンダ：実施すべき課題・計画

貢献する領域



地球の未来のために
できること



CO₂の削減



廃棄物の削減



水環境の保全



人の未来のために
できること



人と動物の
健康問題の解決



スマート社会の
実現



食料不足の
解決

2027年度連結売上高
に占めるサステナブル
アジェンダの対象製品・
サービスの割合

55%以上維持

Vista2027 非財務指標

	2027年度 (目標)
日産化学サステナブルアジェンダ (社会課題解決に貢献する製品・サービスの合計売上高/全体売上高)	55%以上維持
温室効果ガス排出量の削減	2018年度比30%以上 (2030年度目標3年前倒し)
社員意識調査の人材育成に関する質問への肯定回答者	65%以上
研究所女性総合職比率	18%以上

基本戦略 2「サステナブル経営の推進」

企業存続にかかわる最重要課題

コーポレートガバナンスの強化

- ◆ 役員報酬体系へのESG指標の組入れ
- ◆ 気候変動対策委員会の新設

コンプライアンス・リスクマネジメントの強化

- ◆ リスク対策の新計画実行によるリスク対応の実効性向上
- ◆ リスク主管部門の連携による内部統制の強化

基本戦略 3「価値創造・共創プロセスの強化」

①経営戦略実現のための、人事制度の刷新と人材育成

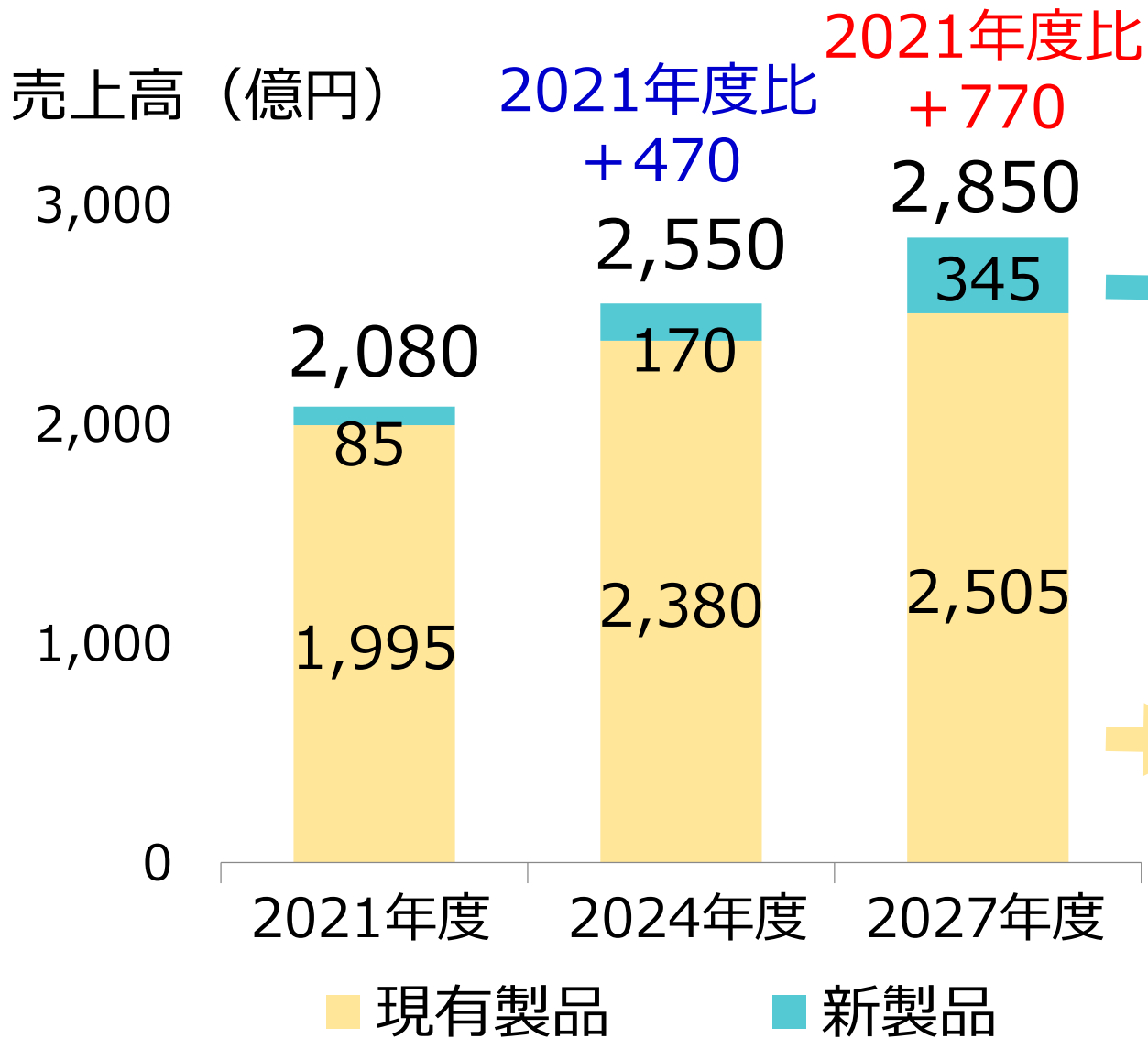
生きがいとキャリアを育みながら士気高く役割を果たすための基盤構築

②デジタル改革推進部の新設とDX*・業務基盤改革の推進

デジタル技術・データの最大活用による価値創造・共創

*デジタルトランスフォーメーション

基本戦略 4「現有事業のシェア・利益の拡大」



*括弧内の数字は全増加額中の割合

新製品の
2021年度比売上高増加額
2024年度 +85億円 (18%)
2027年度 +260億円 (34%)

現有製品の
2021年度比売上高増加額
2024年度 +385億円 (82%)
2027年度 +510億円 (66%)

成長の源泉（主な現有製品、主な新製品）

現有製品を成長の源泉の主軸とし、次世代の成長の源泉となる新製品の育成も図る

化学品

[現有製品] 尿素・アドブルー[®]*¹、硫酸系製品、環境化学品など

*1: アドブルー[®]はドイツ自動車工業会（VDA）の登録商標

機能性材料

[現有製品] 多層材・三次元実装材、光IPS、ARC[®]*²など

[新製品] 光VA、OLED材、EUV材など

*2: ARC[®]はBrewer Science, Inc. の登録商標

農業化学品

[現有製品] ラウンドアップ、フルララネル、アルテア、ライメイなど

[新製品] 新規除草剤(NC-653, NC-656)、新規殺虫剤(NC-520)など

ヘルスケア

[現有製品] ジェネリック（マキサカルシトール）など

[新製品] ジェネリック（エルデカルシトール）など

企業理念

社会が求める価値を提供し、
地球環境の保護、人類の生存と発展に貢献する

経営の健全性・透明性向上

コンプライアンスの徹底

環境への一層の配慮

社会貢献活動の推進

すべてのステークホルダーから信頼される企業グループの実現



Nissan Chemical
CORPORATION

日産化学株式会社